

山田マシンツール

山田マシンツール（東京都台東区、山田雅英社長、03・3834・5041）は、パート・アルバイト社員の時短勤務での正社員登用を始める。通常の正社員登用はこれまでもあったが、5時間以上の勤務から認める。同社は目標管理シートによる評価制度を採用、賞与も評価によつて上がる。子育てなどで時短勤務でも、向上心が高く、優秀な従業員にスキルアップの機会を提供するため、制度の導入を決めた。

時短勤務で正社員登用
商材知識習得を評価

電話応対やFAX注文、出荷などの営業アシスタントを4人のアルバイト社員が担当している。山田マシンツールは機械工具商社で、ニッチなものを得意とするため、商材知識の習得が難しいことが特徴だ。

山田社長は「取り扱う製品が難しく、電話での問い合わせが多

い。細かい知識があれば、電話応対で顧客へ

の印象もよくなる」と会社としてのメリットを指摘している。これまでにも宮崎県で電気設計従業員のリモートワークや、外国人労働者の採用など、従業員の要望に沿って、多様な働き方を認めてきた。山田社長は「採用難が進む中、ダイバーシティーを認めていなくては、いい人材が定着していかない。多品種少量生産となった時代で、働き方も画一であってはいけないのでは」と考え方を示し、今後も社内の要望に沿って、新たな働き方を検討していく考えを示した。